

保護者向けセミナー開催のご案内

～みんなで、一緒に考えよう～

講師による講話のほか、同じ悩みを抱える方々同士の交流や情報交換等をしていただく時間を設けています。「親子関係はどうあったら良いのか」、「子どもとどう接していけば良いのか」、「解決に向かうにはどうしたら良いのか」など、一緒に考えていきませんか？ぜひ、ご参加ください。

8月のセミナー 平成28年8月20日（土）

セミナー講師：福井大学学生総合相談室

コーディネーター 安岡 恵子氏

テーマ：『今、学生相談室からみえる～不適應の背景について～』

【講師紹介】

現在、福井大学学生総合相談室（文京キャンパス）で学生相談を担当されています。これまで県内公立学校でスクールカウンセラーを始め、学校心理士、臨床発達心理士としてカウンセリングを行い、専門学校等で講師をされていました。

時間：13：30～16：00

対象：若年無業者のお子さんを持つご家族の方

定員：20名（申込み方法：事前に「サポステふくい」までお電話ください。）

場所：福井県社会福祉センター

内容：講師によるセミナー・意見交換ほか

参加費 無料

サポステふくい（ふくい若者サポートステーション）とは…。

若年無業者の方の職業的自立支援を行う機関です。サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働事業として行っております。

6月開催のセミナーレポート

日時：平成28年6月18日（土）

テーマ：『青年の自立は親の愛情と仲間の支え合い』

講師：心の健康相談室こだちのもり 心理カウンセラー 熊谷香葉江氏

今回はこだちのもりで、先生が支援している方の母親の体験談と先生のお話を伺いました。先生は、本人の回復には「仲間に支えられていることの大切さ」を強調しました。

相談者の娘さんは、小さい頃から、言葉の意味を顔面どおりに受け取る傾向が見られました。高校卒業後は県外の短大に進学し、その後、専門学校に進みました。そこで、言葉のいやがらせに遭い中退して、就職するも長続きはしませんでした。この頃から、本人は家族への不満を繰り返し訴えるようになりました。そのため、母親は心のケアの必要性を感じ、精神科を受診したものの、あまり改善しませんでした。その頃、母親が先生の講演を聞いたことがきっかけで、本人が先生のカウンセリングを受けるようになりました。そこで、辛かったことを言葉にすることができ、いじめによって悪化した症状があったため、セカンドオピニオンをアドバイスし、症状は改善していきました。先生のカウンセリングで、本人は親に愛されていることを実感して素直になりました。就職の際も、他機関の協力を得て、先生が就職先に付き添い、本人と相性がよいところを選ぶようにしました。仲間同士の雑談の中で、認知の歪みが治ってゆくこともあります。こだちのもりの様々な行事に参加することで、今までの硬い表情が豊かな表情となり、自主性がみられるようにもなりました。活動の中で、「していただいたこと」、「良かったこと」、「してあげたこと」を挙げてもらうことで、受け入れてくれる仲間の大事さに気づき、成長することができました。後半、先生は参加者の皆さんの感想や悩みに耳を傾け、ひとり一人に、アドバイスをされました。



【お問い合わせ】サポステふくい（ふくい若者サポートステーション）

福井市光陽2丁目3-22
福井県社会福祉センター1F

TEL 0776-21-0311